

# 台風19号による 市内の被害状況



各地で記録的な大雨を降らせた台風19号が10月12日から13日にかけて茨城県を通過し、甚大な被害がもたらされました。

坂東市においても、利根川（芽吹橋）及び西仁連川（沓掛橋）の最高水位が氾濫危険水位を超え、浸水想定区域などに警戒レベル4避難指示を発令しました。市では、避難所20か所を開設し、計734人（うち乳幼児21人・要支援者7人）

が避難しました。

また、主な避難所となった坂東総合高校を含む10か所で、境町などから計1042人の広域避難者がありました。

今回の台風対応では、消防団・区長・土地改良区をはじめとした各関係機関のみなさまにも、ご協力をいただきました。

災害はいつ発生するか分かりません。市民のみなさんには、市総合防災マップで自宅の災害リスクを再度ご確認いただき、避難所への安全な経路などを日頃から家族で話し合うなど、命を守る準備をお願いします。

## 被災自治体へ 災害支援

市では13日、台風の影響により断水が発生した常陸大宮市に水道課職員が向かい、給水袋配布や病院施設への給水を実施しま

した。16日には、福島県南相馬市に飲料水（2Lペットボトル2004本）を輸送。飲料水は、本市とコカ・コーラボトラーズジャパン(株)との災害協定「災害用飲料水等の供給協力に関する協定」により提供いただいたものです。物資の輸送は、「災害時の緊急救援輸送に関する協定」を締結している、茨城県トラック協会県西支部に協力いただきました。その後も、保健師や災害廃棄物処理職員、日本赤十字社坂東市地区奉仕団などが、被災地で支援活動を行いました。



## ばんどう市女性団体協議会主催 市長を囲んで懇談会

### 子育て真っ最中のパパやママが参加

9月27日、市役所多目的ホールで、ばんどう市女性団体協議会主催による「市長を囲んでパパママ懇談会」が開催されました。

懇談会は、子育て真っ最中のパパやママの生の声を市長に聴いてもらいたいという女性団体協議会の希望により、今回初めて実現したものです。

当日は、11人のパパやママが参加。市長からこれまでの市の施策について説明を受けた後、子育ての悩み事や不安、要望などを市長に伝えました。市としても、子育て世代の方の、市政に対する要望などを把握する、貴重な機会となりました。



## ばんどう市 女性団体協議会とは

市内6つの女性団体で構成され、団体が相互に連携・協力をし、男女共同参画の推進を目的に活動しています。

▼「お荷物を不在の為持ち帰りました。下記よりご確認ください」は宅配業者を騙る偽メールです